

# 感染症ニュース

No.225 2024/01/19

文責：竹鼻 純子

## <流行中の感染症>

### 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)

富山県での定点報告の感染者数は、再び増加してきている。昨年9月下旬からは、オミクロン株 XBB.1.5 に対応した新しいワクチン接種が行われているが、海外での流行は、さらに変異した JN.1 が主流となっており、日本国内でも拡大しつつある。今後も高齢者の重症化予防のためのワクチン接種や、高齢者施設などでの徹底した感染予防策の継続は必要である。感染拡大を最小限にするために、普段の生活でも基本的な予防策を継続し、手洗いに加え、特に3密となるような場面ではマスクを着けることが推奨される。

### インフルエンザ

全国で流行が続いており、富山県内でも学級・学年閉鎖も出ている。A 香港型、A 型 pdm09 (2009 年の新型インフルエンザ)、B 型のすべてが同時に流行しており、1 度だけではなく、2 度、3 度とかかる可能性がある。

### 溶連菌感染症

発熱、のどの痛み、発疹が主症状で、小児のみならず成人の感染も多い。例年、秋から冬を通して春先にかけて流行するが、昨年の感染予防策が緩やかになった頃から流行が続いている。再感染や再発例も多い。経口抗生剤が有効だが、症状が治まっても 10 日前後服用を続けないと、腎炎などの合併症を併発する。

### アデノウイルス感染症 (プール熱、咽頭結膜熱)

昨年の大流行は下火にはなっているが、まだ流行あり。急な発熱が数日続くが、比較的元気なことが特徴で、のどの痛み、眼の充血や目やにを伴うこともある。夏に多いが冬に流行することもあり、一年を通してみられる。感染力が非常に強く、登園・登校禁止にもなる。熱や痛みで飲食できないと脱水症になりやすい。

### 感染性胃腸炎

ウイルス性胃腸炎の代表であるノロウイルスにはアルコール消毒は無効なので、アルコールによる手指消毒を過信せず、石鹸による手洗いを徹底することも重要。